

ソリューション・ラボ・ジャパン株式会社がアサイン管理の脱 Excel 化に向け 開発リソース最適化プラットフォーム「Co-Assign」を導入

開発プロジェクトの予実の見える化を通じ、生産性向上を目指す

株式会社アイリッジ（本社：東京都港区、代表取締役社長：小田 健太郎、東京証券取引所グロース：3917、以下「アイリッジ」）は、アプリケーション開発・保守サービス事業、IT インフラ構築・運用支援事業などを手掛けるソリューション・ラボ・ジャパン株式会社（本社：神奈川県横浜市中区、代表取締役社長：森原 達夫、以下「ソリューション・ラボ・ジャパン」）が、2023年8月、プロジェクト管理のDXを目的として、開発リソース最適化プラットフォーム「Co-Assign」（コアサイン、<https://www.co-assign.com/>）を導入したことを発表します。



「Co-Assign」導入背景

ソリューション・ラボ・ジャパンでは、開発プロジェクトにおいて、約160人のアサイン管理（プロジェクトへの人員割当）をしています。これまで、独自のExcelフォーマットで管理を行ってききましたが、サービス規模拡大やDX関連サービス含むITサービスメニューの多様化により案件数が増加し、管理の負荷が高くなってきていました。また、案件ごとの予実（予算と実績）管理は別途管理会計システムで実現していますが、月次決算が完了しないと確認が出来ない状況であったことから、月中での概算値での把握や見える化を通じて生産性を高めていくため、2023年1月に「Co-Assign」をトライアル導入しました。その後、課題とニーズに合致した機能があることとシンプルで使いやすいユーザーインターフェースを評価いただき、8月に正式導入となりました。

「Co-Assign」について

「Co-Assign」は、要員の稼働計画を「高い解像度」でチーム内に共有することができるアサイン管理の脱Excelサービスです。以下の効果を提供します。

・要員計画の脱Excel化

プロジェクトごとの稼働予定を管理し、人軸、プロジェクト軸で切り替えて見ることができます。

・受注キャパシティの拡大

受注予定案件の要員計画を、月ごと・受注確度ごとと集計できます。本当に不足する人材・スキルがわかるため、最適な人材配置を行うことができ、結果、受注キャパシティが拡大します。

・予実管理による粗利率の向上

進行中のプロジェクトごとに、稼働時間を入力することができます。プロジェクトごとの予実がリアルタイムでチームに共有されるため、粗利率が悪化する前に、対策を取ることができます。

今後の展望

アイリッジでは今後も、機能追加や使いやすさの改善を含めた「Co-Assign」のサービス向上を通じて、プロジェクト管理の DX を支援していく予定です。

ソリューション・ラボ・ジャパン株式会社について

会社名：ソリューション・ラボ・ジャパン株式会社 (<https://www.slj-net.co.jp/>)

本社所在地：神奈川県横浜市中区太田町 4-55 横浜馬車道ビル 6 階

設立：1992 年

代表者：代表取締役社長 森原 達夫

事業内容：アプリケーション開発・保守サービス事業、IT インフラ構築・運用支援事業、IT 人材支援サービス事業、DX・ビジネスオートメーション支援事業

株式会社アイリッジ (<https://iridge.jp/>)

株式会社アイリッジは、「Tech Tomorrow : テクノロジーを活用して、わたしたちがつくった新しいサービスで、昨日よりも便利な生活を創る。」という理念のもと、スマートフォンアプリを活用した企業の OMO (Online Merges with Offline : オンラインとオフラインを統合したマーケティング活動) 支援を行っています。OMO 支援ではアプリの企画・開発における業界トップクラスの実績があり、手がけた OMO アプリの MAU (月間アクティブユーザー) は 8,000 万以上に達する業界のリーディングカンパニーです。さらに、リテールテック、フィンテック、MaaS、業務支援等、幅広い領域で DX を支援しています。今年 4 月からは急激な時代の変化に迅速に対応するための次世代型アプリビジネスプラットフォーム「APPBOX」も提供開始しました。「APPBOX」ではスクラッチ開発 (ゼロからの開発)、他社開発アプリへの機能追加、パッケージアプリ提供が可能で、パッケージアプリでは従来のアプリを捨てることなく、スクラッチ開発に移行しての機能刷新も可能です。

※記載されている各社の会社名、サービス名、製品名等は、各社の登録商標または商標です。